

## 『館山地区学校のあり方を考える会』における「保護者委員」の意見結果 及び地区保護者等との意見交換状況について

（「館山地区学校のあり方を考える会」について）

- 委員 6名（小学校保護者3名・未就学児保護者2名・地区代表1名）
- 検討過程 令和4年10月～令和5年5月

（協議内容）

- ✓ 現状の学区を分割して、学年当り単一学級となる小規模学校での教育環境を望む（最低限の1学年15人，小学校全体で90人規模）
- ✓ 現状と同様に、将来に渡りクラス替えが可能となる学校規模での教育環境を望む。

（協議経過）

日 付	内 容
令和4年6月24日	保護者・地区説明会（基本指針説明、地区協議方法に関する意見交換）
令和4年11月10日	「学校のあり方を考える会」第1回会議 （組織規約の決定、意見集約化の手法検討）
令和4年12月22日	「学校のあり方を考える会」第2回会議 （学校規模に関するメリット・デメリット／論点整理など）
各保護者委員が“保護者として考える望ましい学校規模について”検討する期間	
令和5年2月9日	「学校のあり方を考える会」第3回会議 （保護者委員／意見交換～意見集約化）
令和5年3月10日	保護者意見聴取（～令和5年3月31日まで意見聴取期間）
令和5年6月1日	「学校のあり方を考える会」第4回会議 （意見聴取結果を含め、保護者委員の意見決定）
令和5年6月6日	保護者通知（保護者委員の決定意見を小学校・未就学児保護者に周知）
令和5年7月6日	館山地区（区長会）にて保護者意見の説明

(協議結果／保護者委員意見)

結 論

将来に渡りクラス替えができる学校規模を望む

理 由

- 標準規模校・小規模校のメリット・デメリットを比較し考えても、クラス替え可能な規模（標準規模校）の方が良い。  
※ 多くの友人と様々な経験をさせてあげたい。

各委員の意見（将来に渡りクラス替え可能な規模を望む意見）

- 集団で行う教科（体育・音楽など）を考えても、同学年の人数は多い方が良い。
- 現在の学年2クラス規模よりも3クラス程度あった方が良い。理由は、子供の交友関係を広げることが可能性を伸ばすことに繋がると思う。
- 人数は多ければ多い方が良いと感じる。理由は、交友関係を含め子供自身が選ぶ選択肢が広がった方が、子供の成長のために、良いと思うから。
- 学校は子供達が（勉強だけでなく）、社会性を学ぶ場であると思う。そのために、子供同士が様々な関わり合いが持てる学校環境を提供してあげたい。
- 館山幼稚園の役員ともこの議題について話し合いを行ったが、市の財政面（市民負担）を考えても、小規模な学校を何校も運営するよりも、学校再編を行い一定規模の学校を運営する方が、教育環境の質が高まるとの意見があった。  
また、いずれ館山中学校で同級生が一緒になることを考えても、小学校の段階から交流を持ち、関わりを深めた方が、子供のためにも良いとの意見があった。

各委員の意見（現状よりも小規模を望む意見）

- 支持する意見なし